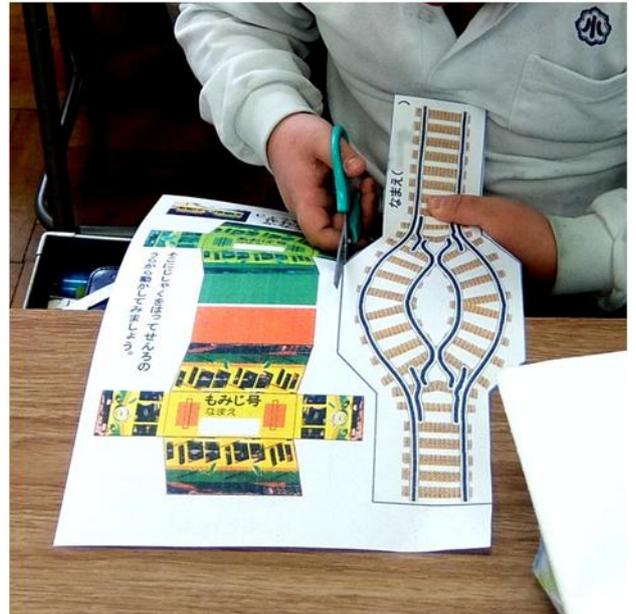
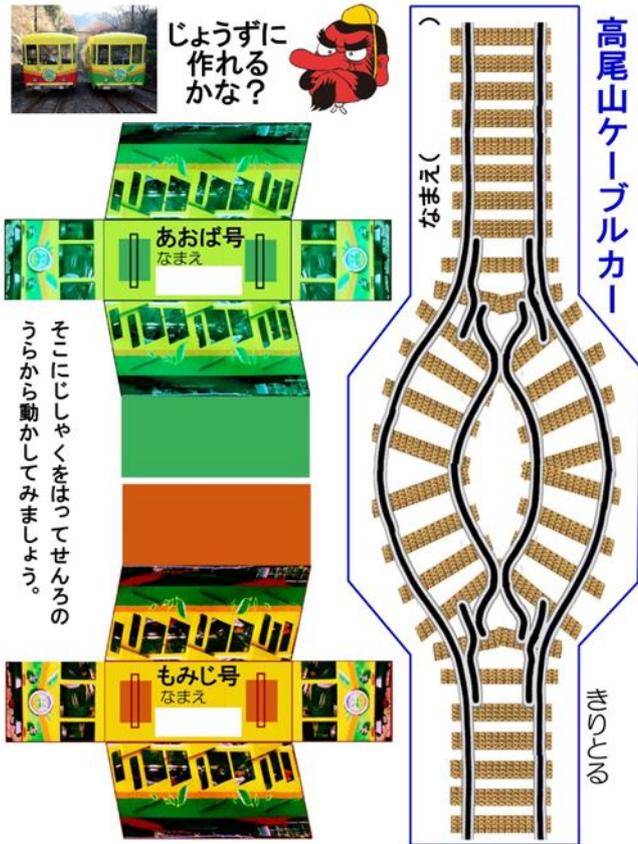


「ケーブルカー遊び (2)」

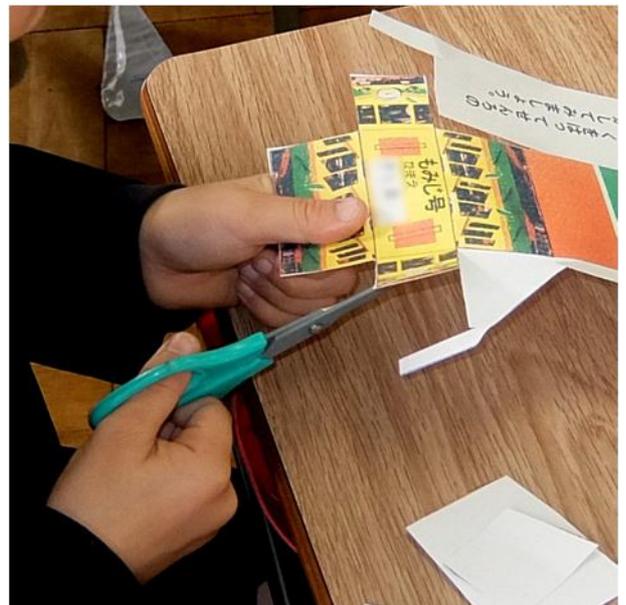
お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

2年生の子どもたちは、ケーブルカーに乗って、楽しい時間を過ごせた。ムササビのペーパークラフトに続いて、今度は磁石を使ったケーブルカー遊びをさせようと思った。線路の形状や、車両の形は、現地によく観察し、かなり正確に再現した型紙を作った。

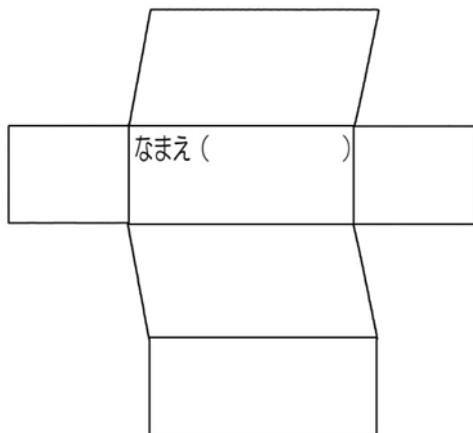
線路は、すれ違い部分の形状を、できるだけ忠実に再現。延長用の直線線路も用意した。高尾山のお土産物屋さんで、売れるかも知れない。



特に説明はしなかったが、子どもたちはとても喜んでくれて、さっそく工作にとりかかっていた。



これが、改良を繰り返して完成した型紙だ。車両は撮影した写真から型紙にした。今回はカラーにしたが、自分で車両を描きたい子どものため、真っ白な車両の型紙も用意した。(いずれの型紙も2ページ目に掲載)



「先生、どうやったら、本物のケーブルカーみたいに、斜めの電車になるの?」という質問があった。「きちんと切り取って、しっかり折って、組み立てれば、ちゃんとできるよ。」「ふ～ん、やってみよう!」

子どもたちは、できるだけ丁寧に、時間をかけて型紙を組み立てていたので、嬉しくなった。(つづく)



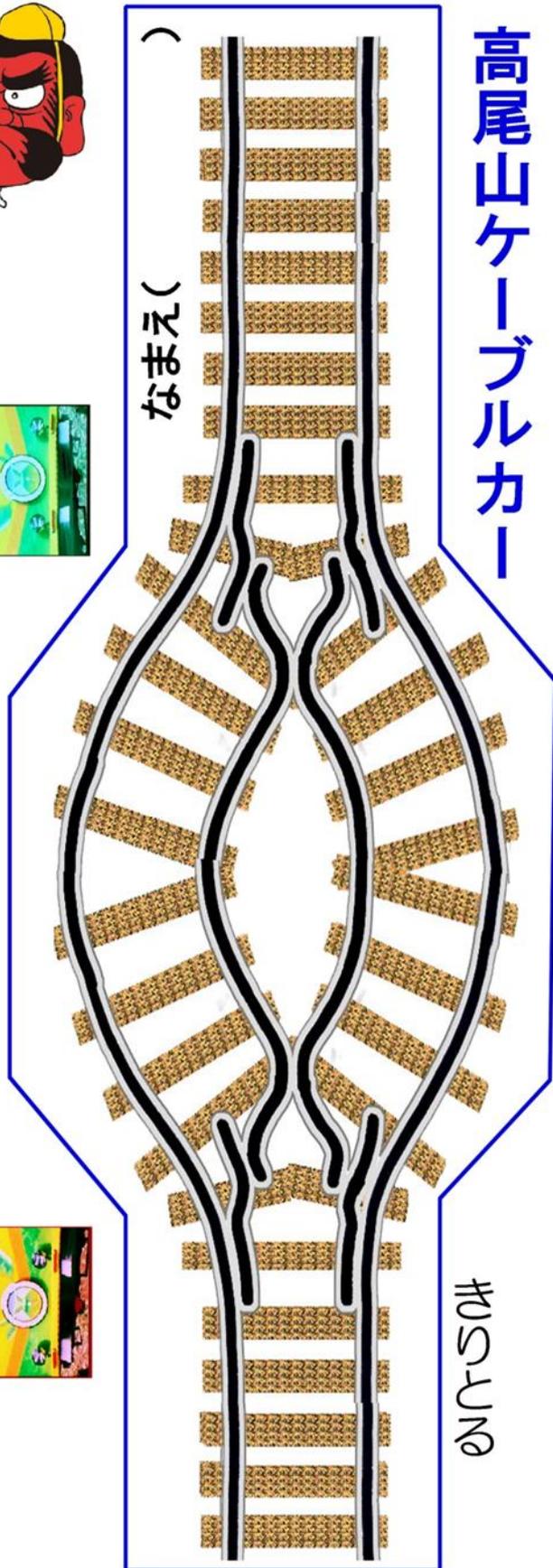
じょうずに
作れる
かな？



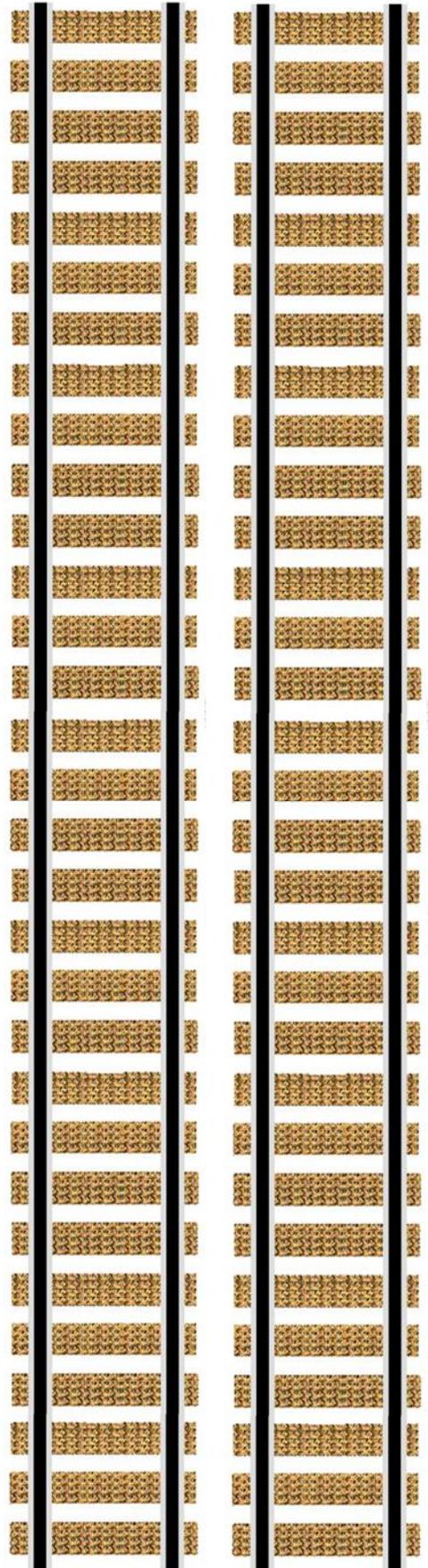
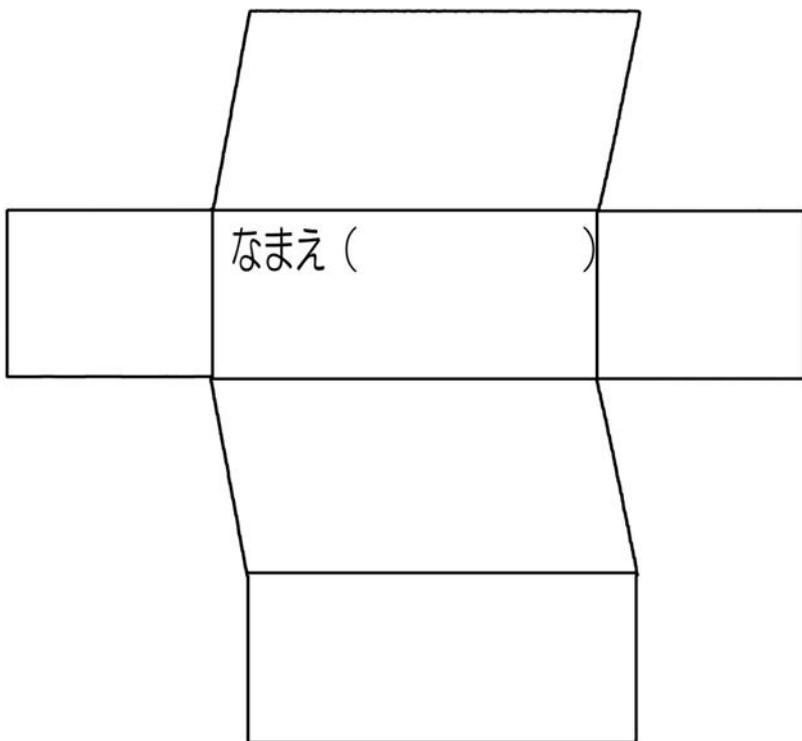
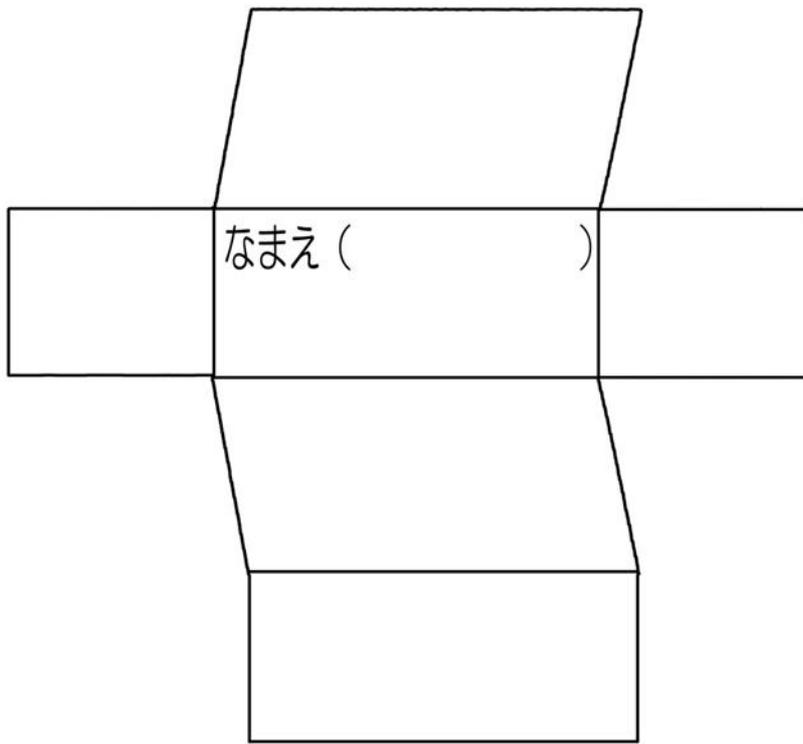
高尾山ケーブルカー



そこにじしゃくをはってせんろの
うらから動かしてみましよう。



9才画用紙に拡大印刷するのに適す。
児童書き込み用車両、延長線路は3ページ目に掲載。



児童書き込み用車両と延長用線路。
こちらは同サイズ、モノクロ印刷が適す。